

大阪府立淀商業高等学校 福祉ボランティア科 1 年生

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「社会福祉基礎」 (実教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

超高齢社会を迎えて、私たちの日常生活に関わる福祉的な諸問題について考え、社会福祉の意義や役割について理解を深めていきます。1 年生では、高齢者や障がい者などのすべての人々が生活しやすい地域社会を創造するために、必要な社会福祉に関する知識を学ぶとともに「福祉マインド」を育みます。

- ①日常生活の福祉的な問題に興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。
- ②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

2 学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会福祉の向上に必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

- ①社会福祉について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- ②社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- ③健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	社会福祉について体系的・系統的に <u>理解している</u> とともに、 <u>関連する技術を身に付けている</u> 。	社会福祉の展開に関する課題を発見し、 <u>職業人に求められる倫理観をふまえ科学的な根拠に基づいて、創造的に解決する力を身に付けている</u> 。	健全で持続的な社会の構築をめぐりて自ら学び、 <u>福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている</u> 。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編 社会福祉の理念と意義	第1編 社会福祉の理念と意義 第1章 生活と福祉 1 少子高齢化と人口減少に向かう日本 2 産業と地域社会の変化 3 家族と働き方の変化 4 疾病構造の変化 5 人の一生と社会福祉	a: 超高齢社会を迎えた日本社会における私たちの生活の変化について、基本的な知識を理解している。 b: 超高齢社会における福祉的な課題に対して、グラフやデータより論理的に考察し、表現することができる。 c: 私たちの生活における変化に興味や関心をもち、生活課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察
	第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度 第2章 地域福祉の進展と地域の将来 1 つながりの再構築と社会福祉の役割 2 地域社会とボランティア 3 非営利組織の活動 4 福祉のまちづくりと地域社会 5 新時代に向けた社会福祉～地域共生社会の実現に向けて～	a: 地域で生活しているすべての人々が心豊かな生活を送るための地域福祉やまちづくり、ボランティアの役割について、基本的な考え方や知識を理解している。 b: 地域福祉の課題について新聞記事などを活用して、それぞれの地域住民の立場から多面的に考察し、表現することができる。 c: 私たちの日常生活における福祉的な課題に興味や関心をもち、ボランティア活動への参加など、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート レポート	提出ノート 振り返りシート レポート 観察
2学期	第1編 社会福祉の理念と意義	第1編 社会福祉の理念と意義 第2章 社会福祉の理念 1 現代の福祉理念 2 日本国憲法と社会福祉 3 地域生活と社会福祉	a: 日本国憲法を通じて社会福祉の理念について、基本的な考え方や知識を理解している。 b: 日本国憲法の第11条・第13条・第14条・第25条の条文を読み、社会福祉との関わりを考察することができる。 c: 事前学習として、日本国憲法の第11条・第13条・第14条について教科書を使って調べ学習を主体的に行っている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察

		<p>第3章 人間の尊厳と新たな社会福祉の創造</p> <p>1 人間としての尊厳</p> <p>2 自立生活支援</p> <p>3 新たな福祉社会の構築に向けて</p>	<p>a: 人間の尊厳や自立した生活について、基本的な考え方や地域社会のあり方を理解している。</p> <p>b: 高齢者や障がい者などの自立生活の支援方法について事例などを活用して、当事者の立場から考察し、表現することができる。</p> <p>c: 地域の一員として、困っている人に対して主体的に活用できる態度を身に付けている。</p>	定期考査	定期考査 ワークシート 発表	提出ノート 振り返りシート 観察
	第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	<p>第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度</p> <p>第1章 多様な社会的支援制度</p> <p>1 医療提供体制のしくみ</p> <p>2 特別支援教育の制度</p> <p>3 特別支援教育の実際</p> <p>4 司法と福祉の連携</p> <p>5 権利擁護と成年後見制度</p>	<p>a: 私たちが生活していくうえで必要な社会的な支援制度について理解している。</p> <p>b: 高齢者や障がい者の困っていることに応じた社会的な支援制度について、当事者の立場から考察し、表現することができる。</p> <p>c: 将来、福祉に携わる人材として、福祉に関する社会的な支援方法に興味や関心を持ち、高齢者や障がい者に応じた支援制度について主体的に活用できる態度を身に付けている。</p>	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察
3学期	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度	<p>第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度</p> <p>第1章 社会保障制度の意義と役割</p> <p>1 社会保障制度の意義と役割</p> <p>2 社会保障の各制度の概要</p> <p>3 社会保障制度を推進する機関</p>	<p>a: 私たちの生活を支える社会保障制度の意義と役割、その制度を推進する機関について、理解している。</p> <p>b: 社会保障制度における課題について多角的に考察することができる。</p> <p>c: 社会保障制度に関して興味や関心を持ち、主体的に活用できる態度を身に付けている。</p>	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察
		<p>第2章 子ども家庭福祉</p> <p>1 少子化時代の子ども子育て支援</p> <p>2 児童相談所と市町村の役割</p> <p>3 子ども支援と保育</p> <p>4 子どものすこやかな成長に向けて</p> <p>5 子どもの貧困と児童虐待への対応</p>	<p>a: 児童および家庭を支える社会福祉サービスについて理解している。</p> <p>b: 児童福祉における課題について新聞記事などを活用して、当事者の立場から考察し、表現することができる。</p> <p>c: 児童福祉に関して興味や関心を持ち、主体的に活用できる態度を身に付けている。</p>	定期考査	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

教科	福祉	科目	介護福祉基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「介護福祉基礎」 (実教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

介護従事者として、必要な基本的な倫理観と態度を学ぶとともに、個人の尊厳や自立支援など一人ひとりの利用者に応じた介護について考えていきます。1年生では、介護が必要な人の気持ちになって尊厳のある介護について考え、介護福祉士として必要な職業観の基礎を育みます。

- ①超高齢社会における介護の問題に興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。
- ②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

2 学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、人間の尊厳を支え自立支援を行うために必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

- ①介護について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- ②介護に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- ③健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、適切な介護の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	介護について体系的・系統的に <u>理解している</u> とともに、 <u>関連する技術を身に付けている</u> 。	介護に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて <u>創造的に解決する力を身に付けている</u> 。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、適切な介護の実践に主体的かつ協働的に <u>取り組む態度を身に付けている</u> 。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編 介護の意義と役割	第1章 尊厳を支える介護 1 介護の意義、役割、尊厳を支える介護 2 利用者主体の介護サービス 3 介護を必要とする高齢者の人権と尊厳 4 介護を必要とする障害者の人権と尊厳	a: 人権尊重の基本的な考え方や高齢者虐待防止法および障害者虐待防止法について理解している。 b: 高齢者虐待が起きる背景に関して、多面的に考察し、表現することができる。 c: 高齢者や障がい者に対する人権について関心を持ち、虐待を防ぐための解決方法について主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察
		第2章 自立に向けた支援 1 自立を支援する専門職 2 個別性を尊重した自立のための支援	a: ICFやリハビリテーションの考え方について理解している。 b: ICDHとICFの特徴について、多面的に考察し、違いを表現することができる。 c: 介護従事者として、障がい者の自立を尊重した生活支援について主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察
	第2編 介護福祉士の担い手	第1章 介護従事者をとりまく状況 1 介護の歴史と現状 2 介護福祉士の養成 3 介護人材の確保と定着 4 介護従事者のキャリアアップ	a: 介護の歴史と社会福祉士及び介護福祉士法について理解している。 b: 介護をとりまく歴史的変化について多面的に考察し、超高齢社会を支える介護人材のあり方について表現することができる。 c: 介護人材の不足について関心を持ち、介護人材の確保に向けた解決方法について主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察

	<p>第2章 介護従事者の役割と介護福祉士</p> <p>1 介護の役割、介護福祉士の専門性</p> <p>2 災害時における支援、平常時の防災活動</p> <p>3 在宅介護従事者の役割</p> <p>4 施設介護従事者の役割</p> <p>5 終末期における介護従事者の役割</p>	<p>a: 在宅や施設における介護従事者の役割や災害時における介護従事者の支援活動について理解している。</p> <p>b: 介護を必要とする利用者に対して、日常的な介護にとどまらず、災害時の介護について思考を深め、表現することができる。</p> <p>c: 介護従事者の役割と専門性について興味や関心をもち、求められる介護福祉士像に向けて主体的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>定期考査</p> <p>確認テスト</p>	<p>定期考査</p> <p>ワークシート</p>	<p>提出ノート</p> <p>観察</p>
2 学期	<p>第3章 介護従事者の倫理</p> <p>1 専門職の倫理</p> <p>2 専門職としての基本姿勢</p> <p>3 プライバシーの保護</p>	<p>a: 介護従事者に必要な職業倫理と、介護場面におけるプライバシーの保護について理解している。</p> <p>b: 介護場面におけるプライバシーについて思考を深め、プライバシーを尊重した介護について表現することができる。</p> <p>c: プライバシーとは何かについて関心をもち、介護福祉士として利用者のプライバシー保護に向けて主体的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>定期考査</p> <p>確認テスト</p>	<p>定期考査</p> <p>ワークシート</p>	<p>提出ノート</p> <p>観察</p>
	<p>第4章 介護実践における連携</p> <p>1 多職種連携とチームケア</p> <p>2 医療・保健・福祉と介護</p> <p>3 介護支援専門員との連携</p> <p>4 ボランティアとの連携</p>	<p>a: 医療、保健、福祉の各専門職の役割と連携の必要性について理解している。</p> <p>b: 介護現場におけるチームケアについて思考を深め、より良い介護に向けて表現することができる。</p> <p>c: 超高齢社会における地域包括ケアについて関心をもち、地域住民の一員として主体的に要介護者の生活を支援する態度を身に付けている。</p>	<p>定期考査</p> <p>確認テスト</p>	<p>定期考査</p> <p>ワークシート</p>	<p>提出ノート</p> <p>観察</p>

3 学 期	第3編 介護を必要とする人の理解と支援	第1章 介護を必要とする人と生活環境 1 介護を必要とする人の生活環境 2 介護を必要とする人の背景と生活環境	a:介護を必要とする人の生活環境を整える方法として、バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解している。 b:生活環境を整えることの意義について思考を深め、自立につながる環境整備に向けて表現することができる。 c:バリアフリーに関心をもち、地域住民の一員として心のバリアフリーを主体的に実践できる態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察
		第2章 高齢者の生活と支援 1 高齢者の活動 2 高齢者を取りまく環境の考え方 3 高齢者の生活支援	a:高齢者の社会参加や高齢者を取りまく環境について理解している。 b:高齢者の社会参加について思考を深め、超高齢社会における高齢者の活躍の場を創造する力を身に付けている。 c:超高齢社会において、就労の場面など高齢者と協働して取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察
		第3章 障がい者の生活と支援 1 障がいとは何か 2 肢体不自由者の生活と支援 3 視覚障がい者、聴覚・言語障がい者の生活と支援 4 内部障がい者の生活と支援 5 知的障がい者の生活と支援 6 発達障がい者の生活と支援 7 精神障がい者の生活と支援	a:身体障がい者、知的障がい者、発達障がい者、精神障がい者の定義について理解している。 b:障がいに応じた生活上の困難について思考を深め、より良い支援方法について発表することができる。 c:障がい者の日常生活について関心をもち、介護従事者として主体的に要介護者の生活を支援する態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

教科	福祉	科目	コミュニケーション技術	単位数	1単位	年次	1年次
使用教科書	「コミュニケーション技術」 (実教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

対人援助に必要なコミュニケーションに関する基礎的な知識や技術を学び、施設実習やボランティア活動を通じて実践力を高めていきます。1年生では、介護が必要な人の気持ちになって信頼関係の構築をめざしたコミュニケーションについて考え、介護福祉士として必要な職業観の基礎を育みます。

- ①相手(利用者)の気持ちを理解するためのコミュニケーション方法について、興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。
- ②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

2 学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、対人援助や福祉実践の場での人間関係の構築に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

- ①対人援助について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- ②対人援助の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- ③健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、適切な対人援助に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	対人援助について体系的・系統的に <u>理解している</u> とともに、関連する技術を <u>身に付けている</u> 。	対人援助の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を <u>身に付けている</u> 。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、適切な対人援助に主体的かつ協働的に取り組む態度を <u>身に付けている</u> 。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編 介護におけるコミュニケーション	第1編 介護におけるコミュニケーション 第1章 コミュニケーションの意義と役割 1 人間の理解と人間関係 2 コミュニケーションとは	a:介護従事者として人間関係の形成に必要なコミュニケーションの意味と役割について理解している。 b:コミュニケーションにおいて、自分の動作や行動が相手に与える影響について思考を深め、よりよい関わり方について表現することができる。 c:介護現場におけるコミュニケーションについて興味や関心をもち、主体的に利用者とコミュニケーションを図ることができる態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習状況の観察	ワークシート 学習状況の観察 提出ノート
		第2章 コミュニケーションの基本技術 1 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション 2 受容と共感	a:言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションの特徴について、理解しているとともに、活用できる技術を身に付けている。 b:言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションの違いについて思考を深め、介護従事者として利用者に応じた効果的なコミュニケーション方法について表現することができる。 c:介護現場におけるコミュニケーションについて興味や関心をもち、主体的に利用者と信頼関係を育むことができるための基本的な態度(傾聴、受容、共感的理解)を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート 学習状況の観察	ワークシート 学習状況の観察 提出ノート

2 学期	第1編 介護におけるコミュニケーション	<p>第2章 コミュニケーションの基本技術</p> <p>3 対人援助におけるコミュニケーションの実際</p> <p>(1)信頼関係を得るための基本技術</p> <p>(2)相互通行の対話を進展させる技術</p> <p>(3)コミュニケーションの振り返り</p>	<p>a:信頼関係を深めるためのコミュニケーションの基本技術(ペース合わせ、ミラーリング、うなずき、相づち)や感情の個別性について理解している。</p> <p>b:7月の施設実習での経験を活かして思考を深め、利用者の気持ちになって対人援助におけるよりよいコミュニケーションについて表現することができる。</p> <p>c:7月の施設実習での利用者とのコミュニケーション方法を振り返り、11月の実習に向けてよりよいコミュニケーション方法について主体的に取り組む態度を身に付けている。</p>	定期 考査	定期 考査 ワー クシ ート 学 習 状 況 の 観 察 ロ ール プ レ イ	ワー クシ ート 学 習 状 況 の 観 察 ロ ール プ レ イ 提 出 ノ ー ト
3 学期	第1編 介護におけるコミュニケーション	<p>第3章 援助の技法とコミュニケーション</p> <p>1 個別援助としてのコミュニケーション</p> <p>2 集団援助としてのコミュニケーション</p>	<p>a:個別的な援助、集団への援助について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>b:個別的な援助・集団への援助について、援助者の行動規範の原則を踏まえて、よりよいコミュニケーション方法について考察することができる。</p> <p>c:個別的な援助・集団への援助について関心をもち、よりよい対人援助に向けて、主体的に取り組む態度を身に付けている。</p>	定期 考査	定期 考査 ワー クシ ート 学 習 状 況 の 観 察	ワー クシ ート 学 習 状 況 の 観 察 提 出 ノ ー ト

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

教科	福祉	科目	生活支援技術	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「生活支援技術」 (実教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

介護を必要とする人の自立した生活を支援するための安心・安全な介護技術を学び、施設実習やボランティア活動を通じて実践力を高めていきます。1年生では、介護が必要な人の気持ちになって介護技術の基本について考え、介護福祉士として必要な職業観の基礎を育みます。

- ①介護を必要とする人の生活場面に応じた介護技術の方法について興味や関心を持って授業に取り組み、介護技術の演習やグループワークなど、積極的に参加しましょう。
- ②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

2 学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、適切で安全・安楽な生活支援技術を提供するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

- ①自立生活の支援について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- ②自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- ③健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	自立生活の支援について体系的・系統的に <u>理解している</u> とともに、関連する技術を <u>身に付けている</u> 。	自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を <u>身に付けている</u> 。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を <u>身に付けている</u> 。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編 生活支援の理解	第1編 生活支援の理解 第1章 生活の理解 1 生活とは 2 生活形成のプロセス	a:生活や生活支援の在り方、介護従事者としての介護観や倫理観などについて理解している。 b:生活や生活支援の在り方などについて課題を発見し、福祉用具や介護ロボットを活用してサービスを提供することの意義や目的について、具体的な事例により考察し、表現することができる。 c:私たちの生活における変化に興味や関心をもち、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	ワークシート
		第2章 生活支援の考え方 1 生活支援の考え方 2 尊厳の保持と自立支援 3 介護予防とリハビリテーション 4 福祉用具の活用 5 介護従事者の健康管理と感染予防対策	a:意図的な介護や根拠にもとづいた生活支援について理解し、他の職種との協働などについて理解している。 b:ICFにおける構成要素を活用して利用者の課題を発見し、利用者中心の支援を行うために必要な支援方法を考察して表現することができる。 c:ICFを活用し根拠にもとづいた生活支援の方法について興味や関心を持ち、利用者の課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート ワークシート	ワークシート
	第2編 自立に向けた生活支援	第4章 移動の支援 1 移動の意義と目的 2 移動の支援の技法 3 車いす体験・アイマスク体験(実技)	a: 移動の意義や目的、自立した日常生活を送るために必要な安全・安楽な移動の支援について理解している。 b: 安全・安楽な支援を行うための必要な支援方法や声掛けについて考察し、表現することができる。 c: 車いす体験、アイマスク体験を通じて、相手の立場に立った支援方法について主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 実技テスト	定期考査 提出ノート ワークシート	ワークシート

2 学期	第2編 自立に向けた生活支援技術	第1章 居住環境の整備 1 居住環境整備の基本理念 2 快適な居住環境 3 高齢者および障害者の住まい 4 ベッドメイキング(実技)	a:利用者の方の状態や状況に応じた安全で快適な居住環境の整備について基本的知識を理解している。 b: 日本の住宅の特徴を踏まえ、その問題点と解決策や施設における環境整備について考察し、表現することができる。 c: ベッドメイキングの技術を身に付け、目的に合わせた居住環境整備の必要性について主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 実技テスト	定期考査 提出ノート ワークシート	ワークシート
		第3章 身じたくの支援 1 身じたくの意義と役割 2 身じたくの支援の技法 3 浴衣交換(実技)	a:利用者の方の状態や状況に応じた安全・安楽な身じたくの支援について理解し、自立に向けた身じたくの介護に関する基礎的な技術を身に付ける。 b: 機能低下や障がい者が身じたくに及ぼす影響について考察し、自立に向けた身じたくの介護技術について表現することができる。 c: 利用者の方の状態や状況に応じた安全・安楽な身じたくの支援について、臥位での浴衣交換の実技において主体的に取り組むことができる。	定期考査 実技テスト	定期考査 提出ノート ワークシート	ワークシート
3 学期	第2編 自立に向けた生活支援	第2章 家事の支援 1 家事支援の意義と目的 2 家事支援の技法～調理、食品の保存、衛生管理～ 3 家事支援の技法～洗濯～ 4 家事支援の技法～掃除・ゴミ捨て～ 5 家事支援の技法～裁縫～ 6 家事支援の技法～衣類・寝具の衛生管理～ 7 家事支援の技法～買い物～ 8 家事支援の技法～家庭経営・家計の管理～	a:家事支援の具体的な知識を理解するとともに、基本的な技術を身に付ける。 b: 高齢者や障がい者などの自立のための家事支援について新聞記事や事例などを活用して、利用者の方の視点での家事支援について考察し、表現することができる。 c: 介護従事者として、困っている人に対して家事支援を主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート ワークシート	ワークシート 発表

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

教科	福祉	科目	介護総合演習	単位数	1単位	年次	1年次
使用教科書	なし						
副教材等	実習日誌・教材プリント						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

介護を必要とする人の自立した生活を支援するための安心・安全な介護技術を学び、施設実習やボランティア活動を通じて実践力を高めていきます。1年生では、介護が必要な人の気持ちになって介護技術の基本について考え、介護福祉士として必要な職業観の基礎を育みます。

- ①デイサービスセンターやデイケアなどの社会福祉施設での実習に向けて、興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。
- ②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

2 学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の創造と発展に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

- ①地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- ②地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- ③健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に <u>理解している</u> とともに、関連する技術を身に付けている。	地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を <u>身に付けている</u> 。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	☐ 6月実習に向けて	I 6月実習に向けて 1 ガイダンス～3年間の福祉ボランティア科の学習内容～	c: 福祉ボランティア科の学習内容に興味や関心をもち、入学時における自らの将来の夢に応じた目標を主体的に立てている。			ワークシート 観察
		2 介護現場における個人情報	a: 介護現場における個人情報とプライバシーについて基本的な知識を理解している。 b: 介護現場における個人情報とプライバシーの保護について、当事者や介護従事者の立場から考察し、表現することができる。 c: 介護サービス利用者の個人情報やプライバシーに関して主体的に保護できる態度を身に付けている。	定期考査	ワークシート	提出ノート 観察
		3 介護保険制度のしくみ ①介護保険制度とは ②居宅サービスの種類 ③施設サービスの種類	a: 介護を必要とする高齢者を支える介護保険制度について、基本的な仕組みを理解している。 c: 介護保険制度について、興味や関心を持ち、主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト		提出ノート 観察
		4 介護現場の実際 ①介護従事者の業務 ②感染症対策	a: 介護現場における介護従事者の業務や感染対策について基本的な知識を理解している。 b: 介護現場の介護従事者を考察し、利用者の方と関わりの際に必要な自らの考えを表現することができる。 c: 介護実習にむけた興味や関心を持ち、学習した内容を活かして取り組む態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察 ワークシート
		6 介護現場における記録および実習日誌の書き方	a: 介護現場における記録の重要性と実習日誌の記入の仕方を理解している。	定期考査		

		<p>7 デイサービス・デイケア実習(9月)とは(意義と役割)</p> <p>8 実習ガイダンスに向けて</p> <p>9 実習の諸注意・実習目標</p>	<p>a: デイサービス・デイケア実習の意義と役割を理解している。</p> <p>b: 7月の実習に向けて、自らが学習したい内容と関連付けて、実習目標を考えることができる。</p> <p>c: 7月の実習に向けて、主体的に実習目標を立てることができる。</p>	定期考査	実習自己分析シート	実習自己分析シート
2学期	㉔ 7月施設実習について	<p>㉒ 7月施設実習について</p> <p>1 実習新聞の作成</p> <p>2 施設実習発表会</p>	<p>b: 新聞を作成する過程や発表会を通じて、7月の実習の経験を考察するとともに言語化し、表現することができる。</p> <p>c: グループ活動を通じて主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>		新聞作成発表	実習自己分析シート 観察
		<p>㉓ 11月施設実習に向けて</p> <p>1 介護保険制度のしくみ</p> <p>①福祉用具貸与・購入、住宅改修</p> <p>②償還払い</p> <p>②地域密着型サービス</p>	<p>a: 介護保険制度の福祉用具や住宅改修および地域密着型サービスについて基本的な知識を理解している。</p> <p>b: 利用者の方の心身状況や生活状況に応じた介護サービスにおける住宅改修について、考察し、表現することができる。</p> <p>c: 介護保険制度について、興味や関心を持ち、主体的に活用できる態度を身に付けている。</p>	定期考査 確認テスト	定期考査	提出ノート 観察
		<p>2 利用者とのコミュニケーションの図り方</p>	<p>a: 利用者の方とのよりよいコミュニケーションについて基本的な知識を理解している。</p> <p>b: 7月の実習の経験を活かして、利用者の方に応じた話題を考察することができる。</p> <p>c: 利用者の方に楽しんでいただくコミュニケーションについて、創意工夫し、実践しようとしている。</p>	定期考査	実習自己分析シート	実習自己分析シート
		<p>3 実習日誌の書き方</p>	<p>a: 実習で体験、経験した内容を具体的に表現するための「5W1H」を理解している。</p>	定期考査		

		<p>4 デイサービス・デイケア実習(11月)とは</p> <p>5 実習ガイダンスに向けて</p> <p>6 実習の諸注意・実習目標</p>	<p>b: 7月の実習の経験を活かして、自らが学習したい内容と関連付けて、実習目標を考えることができる。</p> <p>c: 11月の実習に向けて、主体的に実習目標を立てることができる。</p>		実習自己分析シート	実習自己分析シート
3 学期	11. 月施設実習について	<p>IV 11月施設実習について</p> <p>1 11月施設実習 ピアスーパービジョンを活用した振り返り</p> <p>2 施設実習発表会</p>	<p>b: ピアスーパービジョンや発表会を通じて、11月の実習の経験を考察するとともに言語化し、表現することができる。</p> <p>c: グループ活動を通じて主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>		発表シート 作成 発表	実習自己分析シート 観察
		<p>3 介護保険制度のしくみ</p> <p>①地域包括支援センター</p> <p>②地域包括ケアシステム</p>	<p>a: 地域で生活する高齢者の福祉に関する相談窓口や地域包括ケアについて理解している。</p> <p>c: 介護保険制度について、興味や関心を持ち、主体的に活用できる態度を身に付けている。</p>	定期考査 確認テスト		提出ノート 観察
		<p>4 1年間の振り返り</p>	<p>b: 7月と11月の実習を通してできた点やできなかった点を考察することができる。</p> <p>c: 7月と11月の実習の一連の活動を振り返って、2年生の目標を立てることができる。</p>		実習自己分析シート	実習自己分析シート 観察

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

教科	福祉	科目	介護実習	単位数	3単位	年次	1年次
使用教科書	なし						
副教材等	実習日誌						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<p>校内の各福祉科目を通じて学んだ介護知識・介護技術を基礎として、実際の介護現場で介護職員の指導のもと利用者にとってよりよい介護方法について学んでいきます。</p> <p>①デイサービスセンターやデイケアなどの社会福祉施設での実習に対して、主体的に参加し、利用者とのコミュニケーションを図り、介護職員から具体的な介護方法を学びます。</p> <p>②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。</p> <p>③介護福祉士の合格をめざして主体的に家庭学習を行い、単に知識を身につけるだけでなく、実践的・体験的な学習活動で得た知識や技術を活用して、介護現場の状況に応じた判断力・実践力を身に付けましょう。</p> <p>④6月に2日間、7月に5日間、11月5日間の集中授業となります。(1学期・2学期)</p> <p>⑤新型コロナウイルス感染症予防対策により、高齢者施設での実習を校内での実習に代替して実施する場合があります。</p>
--

2 学習の到達目標

<p>福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、根拠に基づいた介護及び支援を実践するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。</p> <p>①介護及び支援の実践について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。</p> <p>②介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。</p> <p>③健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。</p>
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	介護及び支援の実践について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を <u>身に付けている。</u>	介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を <u>身に付けている。</u>	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を <u>身に付けている。</u>
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	㊦ 施設実習 デイサービス・デイケア 2日間	Ⅰ 施設実習(デイサービス・デイケア、6月2日間) 1 介護従事者としての身だしなみ・言葉遣いなどのマナーについて	a:介護従事者としてのふさわしい身だしなみ、言葉遣いなどのマナーを身に付けている。 c:職員や利用者に対して、挨拶や敬語を用いたコミュニケーションを主体的に図ろうとしている。	介護知識・技術チェックシート		介護実習チェックシート
		㊧ 施設実習(デイサービス・デイケア、7月5日間) 1 介護従事者としての身だしなみ・言葉遣いなどのマナーについて	a:介護従事者としてのふさわしい身だしなみ、言葉遣いなどのマナーを身に付けている。 c:職員や利用者に対して、挨拶や敬語を用いたコミュニケーションを主体的に図ろうとしている。	介護知識・技術チェックシート		介護実習チェックシート
	2 施設の概要や生活支援目標・理念について	a:実習施設の概要や生活支援目標・理念について理解している。	ガイダンス用紙			
	3 施設の日課について	a:施設の日課について理解している。 c:施設の日課をふまえて、次の行動を考えて主体的に実践しようとしている。	実習日誌		介護実習チェックシート	
	4 介護福祉士の役割について	a:デイサービス・デイケアでの介護福祉士の役割について理解している。 c:介護福祉士の仕事について、興味・関心を持って、主体的に質問している。	実習施設評価		介護実習チェックシート	

	5 利用者とのコミュニケーションについて	b:利用者の気持ちを考え、工夫してコミュニケーションを図っている。 c:利用者とのコミュニケーション方法を振り返り、よりよいものとなるように改善しようとしている。		実習施設 評価 実習日誌 介護知識・ 技術チェックシート	振り返りシート
	6 利用者の生活について	a:どのような高齢者がサービスを利用し、自宅ではどのような生活を送っているのか理解している。	振り返りシート		
	7 介護技術の見学・実践について	a:・介護技術の基礎となるシーツ交換の技術が身に付いている。 b:利用者に応じて介護職員が介護方法を工夫している点に気づき、表現することができる。 c:介護職員の介護技術について興味・関心を持ち、主体的に見学を行い、よりよい介護方法についてわからない点は質問している。	実技テスト	実習施設 評価	介護実習 チェックシート
	8 レクリエーションの意義と役割について	b:利用者が楽しめるような声掛けの仕方を考え、工夫し表現することができる。 c:利用者にとってよりよいレクリエーションになるように、改善しようとしている。		介護知識・ 技術チェックシート 実習施設 評価	介護実習 チェックシート
	9 記録の仕方～実習日誌～	a:誤字・脱字がなく、実習中の経験や学びが記入できている。 b:一日の実習中の活動や実践した内容について考察し、目標に応じた学びを実習日誌に言語化できる。 c:一日の活動を振り返って、最後の行まで記録し、改善しようとしている。	実習日誌	介護知識・ 技術チェックシート	実習日誌

		10 最終カンファレンス	<p>a: デイサービス・デイケアの5日間実習を通じて、目標としていた介護知識や技術を身に付けている。</p> <p>b: 実習中の活動や実践した内容について考察し、振り返りシートに記入するとともに、発表することができる。</p> <p>c: カンファレンスに参加された介護職員のアドバイスを聞き、11月の実習に向けて積極的に改善や活用をしようとしている。</p>	介護知識・技術チェックシート	振り返りシート 発表	観察
2学期	㊦ 施設実習 デイサービス・デイケア 5日間	㊦ 施設実習(デイサービス・デイケア、11月5日間) 1 介護従事者としての身だしなみ・言葉遣いなどのマナーについて	<p>a: 介護従事者としてのふさわしい身だしなみ、言葉遣いなどのマナーを身に付けている。</p> <p>c: 職員や利用者に対して、挨拶や敬語を用いたコミュニケーションを主体的に図ろうとしている。</p>	介護知識・技術チェックシート		介護実習チェックシート
		2 実習施設の特色や設備で工夫されている点について	<p>b: 実習施設では、どのような特色があり、設備の工夫点について考察し、表現することができる。</p> <p>c: 実習施設について興味・関心を持ち、主体的に見学を行い、特色や工夫点について質問している。</p>		実習日誌	介護実習チェックシート
		3 利用者の人権やプライバシーを尊重した介護について	<p>a: 利用者の人権やプライバシーについて理解している。</p> <p>b: 利用者の人権やプライバシーを尊重した介護について考察することができる。</p> <p>c: 利用者の人権やプライバシーを尊重した介護について、主体的に質問している。</p>	振り返りシート	実習施設評価	介護実習チェックシート
		4 介護福祉士の役割について	c: 介護福祉士の仕事について、興味・関心を持ち、よりよい介護に向けて主体的に質問している。			介護実習チェックシート

		6 利用者とのコミュニケーションについて	<p>a: 高齢者の趣味や関心に応じた話題を理解している。</p> <p>b: 利用者との信頼関係を築くためのコミュニケーション方法を考察し、工夫することができる。</p> <p>c: 利用者とのコミュニケーション方法を振り返り、よりよいものとなるように改善しようとしている。</p>	振り返りシート	プロセスレコード	<p>実習日誌</p> <p>介護実習チェックシート</p>
		7 介護技術の見学・実践について	<p>a: ・介護技術の一つである浴衣の交換が身に付いている。</p> <p>・デイサービス・デイケアでの基本的な介護（入浴・食事・移動介助）の目的について理解できている。</p> <p>b: 介護職員が実践している介護技術について、「なぜ」という視点を持って考察することができる。</p> <p>c: 介護職員の介護技術について主体的に見学や実践を行い、わからない点は質問し、改善しようとしている。</p>	<p>実技テスト</p> <p>実習施設評価</p> <p>介護知識・技術チェックシート</p>	<p>介護知識・技術チェックシート</p>	<p>実習日誌</p> <p>介護実習チェックシート</p>
		8 利用者の意欲を引き出すレクリエーションについて	<p>b: 利用者の意欲を引き出す声掛けの方法を考察し、工夫することができる。</p> <p>c: 利用者の意欲を引き出す声掛けについて、よりよいものとなるように改善しようとしている。</p>		実習日誌	<p>介護実習チェックシート</p>
		9 記録の仕方～実習日誌～	<p>a: 誤字・脱字がなく、実習中の経験や学びが記入できている。</p> <p>b: 一日の実習中の活動や実践した内容について考察し、「なぜ」という視点を持って実習日誌に言語化できる。</p> <p>c: 一日の活動を振り返って、最後の行まで記録し、改善しようとしている。</p>	実習日誌	<p>介護知識・技術チェックシート</p>	実習日誌

		10 最終カンファレンス	<p>a: デイサービス・デイケアの5日間実習を通じて、目標としていた介護知識や技術を身に付けている。</p> <p>b: 実習中の活動や実践した内容について考察し、振り返りシートに記入するとともに、具体的に相手にわかるように発表することができる。</p> <p>c: カンファレンスに参加された介護職員のアドバイスを聞き、2年生の実習に向けて積極的に改善、活用しようとしている。</p>	介護知識・技術チェックシート	振り返りシート 発表	観察
--	--	--------------	--	----------------	---------------	----

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

教科	福祉	科目	こころとからだの理解	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「こころとからだの理解」 (実教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<p>介護を実践する際に必要な「こころとからだのしくみ」について勉強をしていきます。「介護が必要な状態」とは「こころ」もしくは「からだ」に何らかの不自由 (障がい) を抱えているがために生活に支障のある状態を言います。1年生では精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の生活困難を測る判断基準となる知識を学んでいきます。</p> <p>①人間の「こころのしくみ」や「からだのしくみ」に興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。</p> <p>②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。</p>
--

2 学習の到達目標

<p>福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、介護を実践するための人間の理解に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。</p> <p>①自立生活の支援に必要なこころとからだについて体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。</p> <p>②自立生活の支援に必要なこころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。</p> <p>③健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、こころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。</p>
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	自立生活の支援に必要なこころとからだについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	自立生活の支援に必要なこころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、こころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編 こころとからだの基礎的理解	第2章 からだのしくみの理解 1 生命維持・恒常性のしくみ 2 脳・神経系のしくみ 3 運動器系のしくみ 4 循環器系のしくみ 5 消化器系のしくみ 6 呼吸器系のしくみ 7 感覚器系のしくみ 8 内分泌系のしくみ 9 泌尿器系のしくみ 10 生殖器系のしくみ 11 血液・免疫系のしくみ	a: 人間のからだのしくみとはたらきについて理解している。 b: 正常な場合のからだのはたらきと、正常ではないからだのはたらきについて、多面的に考察し、違いを表現することができる。 c: 介護従事者として、生活支援が必要な人のからだのしくみとはたらきについて主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 提出ノート
		第1編 こころとからだの基礎的理解 第1章 こころのしくみの理解 1 私たちの生活と健康 2 人間の欲求の基本的理解 3 自己概念と尊厳 4 意欲・動機づけのしくみ 5 思考・感情のしくみ 6 記憶・学習のしくみ	a: 人間のこころのしくみとはたらきについて理解している。 b: こころのしくみについて、自らの生活におけるこころの変容に照らし合わせて、多面的に考察し、表現することができる。 c: 介護従事者として、生活支援が必要な人のこころのしくみとはたらきについて主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 提出ノート
2学期	第2編 生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解	2編 生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解 第1章 生活動作に関するこころとからだのしくみ 1 身じたくに関するこころとからだのしくみ	a: 爪や髪、口腔の構造とはたらきについて理解している。 b: 身じたくが、人間が生きていくうえでどのような役割をもっているか、多面的に考察し、表現することができる。 c: 介護従事者として、生活支援が必要な人の爪や髪、口腔の状態からわかる健康状態について主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 提出ノート

	2 移動に関するところとからだのしくみ	<p>a: 姿勢や歩行のしくみやはたらきについて理解している。</p> <p>b: 移動が、人間が生きていくうえでどのような役割を持っているか、多面的に考察し、表現することができる。</p> <p>c: 介護従事者として、生活支援が必要な人の姿勢や歩行の状態からわかる健康状態について主体的に取り組む態度を身に付けている。</p>	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 提出ノート
	3 食事に関するところとからだのしくみ	<p>a: 人間が必要な栄養素量および水分量と食べるしくみについて理解している。</p> <p>b: 食べることが、人間が生きていくうえでどのような役割をもっているか、多面的に考察し、表現することができる。</p> <p>c: 介護従事者として、支援が必要な人に対して安全に食事を支援する方法について主体的に取り組む態度を身に付けている。</p>	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 提出ノート
3学期	4 入浴・清潔に関するところとからだのしくみ	<p>a: 皮膚や発汗のしくみ、入浴の効果と作用について理解している。</p> <p>b: からだを清潔にすることが、人間が生きていくうえでどのような役割をもっているか、多面的に考察し、表現することができる。</p> <p>c: 介護従事者として、生活支援が必要な人に対して安全に入浴を支援する方法について主体的に取り組む態度を身に付けている。</p>	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 提出ノート
	5 排泄に関するところとからだのしくみ	<p>a: 排尿と排便のしくみ、排泄障がいと症状について理解している。</p> <p>b: 介助が必要な人に対して、その方の ADL に応じた排泄介助の方法を多面的に考察し、表現することができる。</p> <p>c: 介護従事者として、生活支援が必要な人に対して安全かつ自尊心に配慮した排泄を支援する方法について主体的に取り組む態度を身に付けている。</p>	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 提出ノート

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる (第一学習社)						
副教材等	プリントなど						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<p>よりよく生きるとはどのようなことなのかを考え、関心を持ち、自ら実践してみましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の様々な現象や課題をグループワークや実習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。周りの人の考えを聞いて多様な考え方を知り、自分の考えを持ちましよう。 ・実践的、体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けましよう。 ・学んだことを自分の生活問題として捉え、よりよい生き方をめざましよう。 ・自分の考えを積極的に発言ましよう。
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得する。 ・家庭や地域における生活課題について思考し、その課題を創造的に解決し表現する力を養う。 ・家庭生活について積極的に学ぶ態度を身につけ、自らの生活の質の向上に努める姿勢を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を発見し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、創造的に解決する力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて自ら学び、生活の質の向上と社会の発展のために、主体的で協働的に取り組む態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学 期	1章 これからの生き方と家族	1節 生涯の生活設計 2節 家族・家庭と社会との かかわり	<p>a: 生涯発達についての視点と、家族・家庭の意義、社会との関わりについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>b: 生涯発達、家族・家庭と社会との関わりについての課題を見だし、それを創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>c: 生涯学習、家族・家庭について自ら学び、それらの課題について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート	学習状況の観察 学習プリント ノート
	2章 次世代をはぐくむ	1節 子どもの発達 2節 子どもの生活 3節 子育て支援と福祉 【保育に関する製作物】	<p>a: 乳幼児期の心身の発達、親の役割、子どもを取り巻く環境や子育て支援について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>b: 乳幼児期の心身の発達、親の役割、子どもを取り巻く環境や子育て支援について課題を発見し、その課題解決をめざして思考を深め、創造的に解決することができる。</p> <p>c: 乳幼児期の心身の発達、親の役割、子どもを取り巻く環境や子育て支援について自ら学び、主体的で協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート 発表	学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート 発表 製作物	学習状況の観察 学習プリント ノート 発表 製作物

	<p>3章 充実した生涯へ</p>	<p>1 超高齢社会を生きる 2 人生のなかで高齢期をとらえる 3 高齢期の生活 4 高齢社会を支える 5 充実した高齢期へ</p>	<p>a: 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援について理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。</p> <p>b: 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援について課題を発見し、高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域、社会の果たす役割について考察することができる。</p> <p>c: 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援について、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート</p>	<p>学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート</p>	<p>学習状況の観察 学習プリント ノート</p>
<p>2学期</p>	<p>4章 とまごに生きる</p>	<p>1 社会保障制度と社会的連帯 2 人の多様性と社会参加</p>	<p>a: 家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。</p> <p>b: 家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について課題を発見し、その課題解決をめざして思考を深め、創造的に解決することができる。</p> <p>c: 家庭や地域の一員として共に支え合って生活することができるよう、福祉や社会的支援について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート</p>	<p>学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート</p>	<p>学習状況の観察 学習プリント ノート</p>

<p>5章 食生活をつくる</p>	<p>1節 人の一生と食事 2節 栄養と食品 3節 食生活の安全のために 4節 食生活をデザインする</p> <p>【調理実習】</p>	<p>a: 栄養の特徴や、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。</p> <p>b: 栄養の特徴や、健康や環境に配慮した食生活について課題を発見しその課題解決をめざして思考を深め、創造的に解決することができる。</p> <p>c: 栄養の特徴や、健康や環境に配慮した食生活について自ら考察し、自らの食生活を工夫することができる。</p>	<p>学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート</p>	<p>学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート 実習レポート</p>	<p>学習状況の観察 学習プリント ノート 実習レポート</p>
<p>6章 衣生活をつくる</p>	<p>1節 人の一生と被服 2節 被服材料と管理 3節 これからの衣生活</p> <p>【作品製作】</p>	<p>a: 被服の機能と着装、被服材料、被服衛生等について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な技能を身に付けている。</p> <p>b: 被服の機能と着装、被服材料、被服衛生等について課題を発見しその課題解決をめざして思考を深め、創造的に解決することができる。</p> <p>c: 被服の機能と着装、被服材料、被服衛生等について自ら学び、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫することができる。</p>	<p>学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート 製作物</p>	<p>学習状況の観察 定期考査 学習プリント ノート</p>	<p>学習状況の観察 学習プリント ノート 製作物</p>

3 学期	7 章 住生活をつくる	1節 人の一生と住まい 2節 住生活の計画と選択	<p>a: 住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。</p> <p>b: 住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について課題を発見しその課題解決をめざして思考を深め、創造的に解決することができる。</p> <p>c: 住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について自ら学び、安全や環境に配慮した住生活作りのために主体的で協働的に取り組むことができる。</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>定期考査</p> <p>学習プリント</p> <p>ノート</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>定期考査</p> <p>学習プリント</p> <p>ノート</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>学習プリント</p> <p>ノート</p>
	8 章 経済生活をつくる	1節 私たちの暮らしと経済	<p>a: 家計の構造や生活における経済と社会の関わり、家計管理について理解するとともに、関連する技能を身に付けている。</p> <p>b: 生涯を通しての経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などに関連付けて考察することができる。</p> <p>c: 家計の構造や生活における経済と社会の関わり、家計管理について自ら学び、生涯を通しての経済の管理や計画について主体的に取り組むとができる。</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>定期考査</p> <p>学習プリント</p> <p>ノート</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>定期考査</p> <p>学習プリント</p> <p>ノート</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>学習プリント</p> <p>ノート</p>

	2節 消費者問題を考える	<p>a:消費生活の現状と課題について理解しているとともに、生活情報を適切に活用する技能を身に付けている。</p> <p>b:消費者の現状と課題について思考を深め、創造的に解決することができる。</p> <p>c:消費者の現状と課題について自ら学び、その解決に向けて主体的に取り組むことができる。</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>定期考査</p> <p>学習プリント</p> <p>ノート</p> <p>発表</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>定期考査</p> <p>学習プリント</p> <p>ノート</p> <p>発表</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>学習プリント</p> <p>ノート</p> <p>発表</p>
	3節 持続可能な社会をめざして	<p>a:持続可能な社会について理解するとともに、必要な技能を身に付けている。</p> <p>b:持続可能な社会について思考を深め、課題について創造的に解決することができる。</p> <p>c:持続可能な社会をめざして主体的に行動できるよう、安全で安心な消費について考察し、自らのライフスタイルを工夫することができる。</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>定期考査</p> <p>学習プリント</p> <p>ノート</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>定期考査</p> <p>学習プリント</p> <p>ノート</p>	<p>学習状況の観察</p> <p>学習プリント</p> <p>ノート</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

教科	公民科	科目	公共	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校 「公共」 (第一学習社)						
副教材等	「クローズアップ公共 2023」 (第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・これから学ぶ「公共」では中学校の社会科で学んだ内容を基礎にして、現代社会の諸問題や政治経済の仕組み学びます。 ・現代社会の多様な出来事を時事問題や資料を通じて考え、私たちが直面する各種問題に関心を持って学習できるようにします。 ・地域社会など様々な集団の一員として他者と協力して生き、国家や社会などを形成する存在であることを学びます。
--

2 学習の到達目標

<p>国家や社会などの「公共的空間」をつくる存在として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とする。</p> <p>(1) 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解する力を養う。</p> <p>(2) 様々な集団の一員として生き、他社との協働により当事者として国家・社会などの公共的空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的かつ協働的に解決しようとする態度を養う。</p>

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	幸福、正義、公正など社会のあり方についての見方や考え方を働かせ、倫理、社会、政治、法、経済、国際関係などの諸課題を追求し、国家および社会の形成者に必要な知識を身につけている。	現代社会の諸課題の解決に向け、自己と社会の関わりあいをもつ、社会に参画する主体として自立することや、他者と協力して、より良い世界を形成することなどを考察している。	社会一般の問題に粘り強く取り組むと共に、学習内容を日常の出来事と関連づける力を身につける。 自主的に学習した内容を発表する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	公共の扉	<ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間をつくる私たち ・公共的な空間における人間としてのあり方 	a: 授業に積極的に取り組んでいるか 教材に対して関心は高いか。 b: 自らが考えたことを、発言できているか。 c: 学習内容を日常生活と関連づけ自主的に学習できているか。	授業発問 小テスト 定期考査	小テスト 課題提出	定期考査 発表論文
	公共の扉	<ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間における基本的原理 	a: 授業に積極的に取り組んでいるか 教材に対して関心は高いか。 b: 自らが考えたことを、発言できているか。 c: 学習内容を日常生活と関連づけ自主的に学習できているか。	授業発問 小テスト 定期考査	小テスト 課題提出	定期考査 発表論文
二学期	法的な主体と私	<ul style="list-style-type: none"> ・法や規範の意義と役割 ・契約と消費者の権利・責任 ・司法参加の意義 	a: 授業に積極的に取り組んでいるか 教材に対して関心は高いか。 b: 自らが考えたことを、発言できているか。 c: 学習内容を日常生活と関連づけ自主的に学習できているか。	授業発問 小テスト 定期考査	小テスト 課題提出	定期考査 発表論文
	政治的な主体と私達	<ul style="list-style-type: none"> ・政治参加と公正な世論の形成 ・国際社会と国家主権 ・日本の安全保障 	a: 授業に積極的に取り組んでいるか 教材に対して関心は高いか。 b: 自らが考えたことを、発言できているか。 c: 学習内容を日常生活と関連づけ自主的に学習できているか。	授業発問 小テスト 定期考査	小テスト 課題提出	定期考査 発表論文
三学期	経済的な主体	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観 ・市場経済の機能と限界 ・経済のグローバル化 	a: 授業に積極的に取り組んでいるか 教材に対して関心は高いか。 b: 自らが考えたことを、発言できているか。 c: 学習内容を日常生活と関連づけ自主的に学習できているか。	授業発問 小テスト	小テスト 課題提出	発表論文
	地球環境	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロプラスチック問題 ・資源エネルギー問題 ・国際社会のこれから 	a: 授業に積極的に取り組んでいるか 教材に対して関心は高いか。 b: 自らが考えたことを、発言できているか。 c: 学習内容を日常生活と関連づけ自主的に学習できているか。	授業発問 定期考査	小テスト 課題提出	定期考査 発表論文

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度